

健全な苗と適期・適正な田植作業で、初期生育を確保しよう!

移 植

1 田植時期の目安 苗の生育が著しく早い場合は、田植作業を可能な限り早めましょう。

| 品 種 | 五百万石・雄山錦 | てんこもり・新大正糯 山田錦 | コシヒカリ・富富富・てんたかく |
|-----|----------|-----------------------|---------------------------------------|
| 基準日 | 5月5日頃 | 5月10日頃 (コシヒカリの田植前) | 5月15日頃 (中山間地や初期茎数の 取れにくい地域：5月10日頃) |

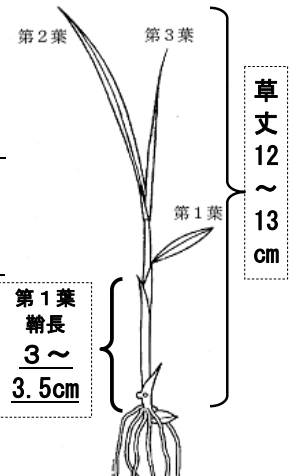
2 育苗後半の管理 ~がっちりした苗に仕上げましょう~

- (1) 硬化期間は、徒長を防ぐため、**換気を徹底**しましょう。
- (2) **田植え7日前から**、または、第3葉が出始めたら、霜や低温(10℃以下)、強風の心配がない限り、**夜間も換気**しましょう。

ハウス内温度は、25℃以下をキープする

※例年、特別栽培米は草丈がかなり長いので、十分換気しましょう。

- (3) かん水は原則早朝の1回とし、早朝の気温の低い時に箱の底まで浸透するよう、ムラなくかけましょう。
ただし、土が乾く場合は、必要に応じてかん水しましょう。
- (4) ムレ苗の発生が見られたら、早急にタチガレエースM液剤(500倍液で500ml/箱)をかん注しましょう(使用回数：1回)。
※ただし、**特別栽培米には使用しない。**



田植時の苗の姿

特別栽培米ほ場の
畦畔には除草剤を
絶対に使用しない。

3 本田準備

- 除草剤の効果を高めるため、以下の点に注意しましょう。
 - ア **代かきから田植えまでは3~5日**を目安にしましょう。
 - イ 耕起、代かきは丁寧に、**ほ場を均平に**仕上げましょう。

「播種時」に使用
できないので注意

4 苗箱施薬

- (1) **栽培様式及び品種により薬剤が異なるため注意**しましょう。
- (2) 育苗後にハウスで野菜等を栽培する場合は、必ず**ハウス外で散布**して下さい。

| 区分 | 品 種 | 薬 剤 名 | 使用量 | 使用時期 |
|-------|--------------------------------|----------------|------------|-----------------------|
| 一般栽培米 | コシヒカリ・新大正糯 | Cs. オリゼリディア箱粒剤 | ※ 50g/箱 | 移植時 移植3日前 ~移植当日 |
| | 五百万石・雄山錦 山田錦・てんこもり てんたかく | ヨーバルプライムEV箱粒剤 | | 播種時覆土前 ~移植当日 |
| 特別栽培米 | コシヒカリ・五百万石 (富富富) | フェルテラ箱粒剤 | | |

※高密度(乾籾200~250g播き)に播種する場合は、10a当りの使用箱枚数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるように、育苗箱1箱当りの薬量を50~100gまでの範囲で調整してください。

(裏面に続く)

5 基肥量

- (1) 「営農のてびき」を参照し、適切に施用しましょう。(営農のてびき p26～27 を参照)
 (2) 大豆跡や堆きゅう肥を施用した場合は減肥しましょう。(営農のてびき p25 を参照)

| 区分 | 減肥の目安 |
|----------|---------------|
| 大豆跡 | 3割減肥 |
| 堆きゅう肥の施用 | 基肥基準量から2～3割減肥 |

- (3) **基準量を確実に施用**できるように、あらかじめ田植機の肥料の落下量を調節しましょう。また、**実際の田植作業時にも計画量が施肥されているか確認し、必要な場合には再度調節**しましょう。

6 田植作業 ～適正な植付深さで初期分けつを確保～

- (1) 田植機の設定レバーを事前に調節しておきましょう。また、田植え始めに必ずほ場で設定どおりに植付されているか確認しましょう。
 (2) 荒天時を避けて、田植えしましょう。

植付けの目安は、田植後に苗の第1葉が見える程度

<田植時の3大ポイント>

- ◎植付深度 **3cm程度**
- ◎植付株数 **株間 14cm**
- ◎植付本数 **3～4本/株**

| 品種 | 五百万石雄山錦 | コシヒカリ、てんこもり 新大正糯、富富富、てんたかく | 山田錦 |
|------------|---------|-----------------------------------|------|
| 植付株数(坪当たり) | 80株 | 70株 (中山間地や初期茎数の取れにくい地域) 80株 | 60株 |
| 株間 | 14cm | 16cm | 18cm |

7 田植後の水管理

穂数が少ないほ場では、4本/株としましょう

| 活着まで(田植後3～4日) | 活着後(根付いたら)※ |
|------------------------------|---------------------------------|
| 苗が水没しない程度： やや深水 で活着促進 | 浅水管理(2～3cm) ：田水温を高め、生育促進 |

※ただし、低温や強風が予想される場合は、深水にしましょう。

直 播

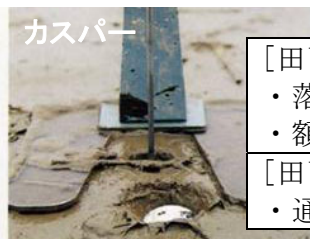
1 代かき作業

- (1) 少ない水量で、**練りすぎないように**しましょう(特に枕地)。
 (2) 代かきから播種までの日数は、**黒ボク土は2～3日、粘質土4～5日**としましょう。

2 播種時の土壌硬度 (1mの高さからゴルフボールを落とした状況で判断)



田面 0cm 以上
種子が埋まらない程度



田面 0～-1cm
種子が5～10mm程度埋まる

- [田面が柔らかい場合]
 - ・落水状態をしばらく保つ
 - ・額縁排水溝を設置する
- [田面が硬い場合]
 - ・通水する

JAなんとメールマガジンの登録はこちらから

営農情報をスピードでキャッチ!

3 播種作業 (播種量・施肥量は「営農のてびき」を参照)

種子及び肥料が均等に減少しているか、ホッパーを確認しながら作業しましょう。

4 播種直後の水管理 (うまい米づくり情報特別号および営農のてびき p32～33 を参照)

- ・鉄 コ：播種後**7日間は湛水管理し、その後は飽水管理**
- ・カルパー：播種後**7日間程度の落水管理**(足が2～3cmしか沈まない程度)後に入水

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261) または 砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ